

平成29年6月26日

各 位

株式会社日本トリム

代表取締役社長 森澤 紳勝
(コード番号：6788 東証第一部)

お問い合わせ先

執行役員 経営企画部長 田原 周夫
(TEL：06-6456-4633)

理化学研究所との共同研究開始に関するお知らせ

当社は、国立研究開発法人理化学研究所と「電解水素水の効果の機序解明」に関する共同研究を本格的に開始いたします。

電解水素水整水器は、胃腸症状改善の効果が認められた管理医療機器に指定されております。当社では、1995年から20年以上に亘り国内外の研究機関と電解水素水（※1）に関する産学共同研究を実施し、胃腸症状改善以外の疾病予防や血液透析での副作用の抑制、農作物の収穫量増加など、優れて有意な生体効果を国際学術誌等で論文発表してきました（※2）。この度の共同研究は、動物及びヒトに対する効果の体系的なメカニズムを、理研が保有する国内最先端の研究ノウハウや計測技術等を活用して解明することを目的としています。研究期間は5年間とし、1、2年の比較的短期的な研究に加え、より高度な機能性を追求する中長期的研究を並行して実施いたします。

これまで蓄積してきた研究成果をさらに発展させ、また今後、電解水素水の各分野での事業拡充にも大きく貢献するものと期待し、本研究を事業の中核の一つと位置付けております。その成果をもとに、より高機能な電解水素水の生成方法や、新たな活用分野の開発にも取り組み、幅広く社会に貢献すべく邁進してまいります。

※1：電解水素水整水器から電気分解で生成されるアルカリ性の水素含有水

※2：27報、2017年6月26日現在

共同研究概要

- (1) 研究題目：電解水素水の効果の機序解明
- (2) 期間：2022年3月31日までの5年間
- (3) 関係組織：理研ライフサイエンス技術基盤研究センター健康・病態科学研究チーム
および光量子工学研究領域光量子制御技術開発チーム
- (4) 研究内容：1. 電解水素水飲用による抗酸化・抗炎症効果の研究（対象：動物、ヒト）
2. 電解水素水による抗疲労効果の研究（対象：動物、ヒト）
3. 電解水素水の吸収動態の研究（対象：動物）
4. 水素水の濃度依存による効果の違いの検証及び物性試験

以上